

2021年度神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会と
神奈川県看護師等養成機関連絡協議会との連絡会議（講演会）次第

「地域包括ケア時代に向けた人材の育成を考える」

日 時 2022年3月28日（月） 14:00～16:10（予定）
場 所 神奈川県総合医療会館7階講堂
主 催 実習病院連絡協議会・養成機関連絡協議会
共 催 神奈川県・神奈川県病院協会

司 会 実習病院連絡協議会 事務局長 木村 博嗣

○ 開 会

○ 挨拶（10分）

（1）主 催

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会 会 長 長堀 薫
神奈川県看護師等養成機関連絡協議会 会 長 榊 恵子

（2）共 催

神奈川県健康医療局保健医療部 保健医療人材担当課長 西海 昇

（3）来 賓

公益社団法人 神奈川県看護協会 会 長 長野 広敬

○ 第1部 講演（45分）「地域看護師 養成・確保アンケート結果と地域の取り組み」

座 長 実習病院連絡協議会 副会長 竹村 華織
（座間総合病院 副院長兼看護部長）

汐田総合病院 看護部長 奥山 洋子

済生会横浜市東部病院 看護部長 渡邊 輝子

○ 第2部 パネルディスカッション（45分）「地域包括ケア時代の看護師像」

パネリスト 窪倉 孝道（汐田総合病院 理事長）
小澤 幸弘（三浦市立病院 総病院長）
榊 恵子（県立保健福祉大学保健福祉学部 看護学科長）
小池美智子（横須賀共済病院 副院長兼看護部長）
神保 京美（伊勢原協同病院 副院長兼看護部長）
小田 明美（しょうじゅの里小野 医務室 看護師長）

○ 第3部 「地域看護師養成事業検討会」における議論について（10分） 県医療課

○ 質疑応答

○ 閉 会

2022年3月31日

各 位

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会
会 長 長 堀 薫

「かながわ地域看護師養成普及事業」のご案内

日頃から、当協議会の事業運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会は、地域包括ケア時代を担う、地域で活躍する看護師の新たな育成について、県とともに、検討してまいりました。

このたび、「かながわ地域看護師」についてご案内させていただくため、リーフレットを作成いたしましたので、周知について、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

また、去る3月28日（月）には、本内容も踏まえ、「地域包括ケア時代に向けた人材の育成を考える」をテーマに、神奈川県看護師等養成機関連絡協議会、神奈川県病院協会、神奈川県との共催で講演会を開催いたしました。（裏面に次第）

講演会の模様は、「神奈川県病院協会」のホームページで、4月1日（金）より公開しております。（資料もダウンロードできます）

リーフレットとあわせて、ぜひご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

記

・リーフレット 同封 5部（下記ホームページよりダウンロード可能です）

・ホームページ配信

期 間 2022年4月1日（金）から4月15日（金）

閲覧方法 下記URL（神奈川県病院協会HP）からご覧ください。

https://www.k-ha.or.jp/training_hospital/training/

[問合せ先]

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会
事務局 目黒・仙田（神奈川県病院協会内）

Tel:045(242)7221 Fax:045(231)1794

e-mail:meguro@k-ha.or.jp

～病院等施設管理者・看護管理者の皆さまへ～

かながわ地域看護師 養成普及事業のご案内



【問合せ先：神奈川県地域看護師養成事業検討会事務局】

◆神奈川県健康医療局保健医療部医療課人材確保グループ

電話：045-210-4759

メール：chiho-kanjin@pref.kanagawa.lg.jp

◆神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会

電話：045-242-7221

メール：toiawase@k-ha.or.jp

かながわ地域看護師とは？

地域でジェネラリストとして活躍する看護師です

- 地域の人口構造などの特性と、医療・福祉関係の資源や課題を理解している
- 病院や介護老人保健施設等、地域の施設等で様々な健康レベルにある対象を全人的に捉え、生活機能の回復・維持を支援している
- 看護実践能力及び調整能力を活かし、自施設以外の多職種とも連携を図っている

求められる資質は？

- 看護師個人のライフサイクルやニーズと調和する形で、同一ないし異なる施設間での異動・入退職（転職）やキャリア形成を一定の地域の中で継続し、地域包括ケアを推進できる資質として、上記定義の3要件を満たしていることです。

★本事業の特徴★



- 地域包括ケアシステムの中で活躍できる看護師を養成します！
- 単施設のみではなく、複数施設でキャリアを支援します！
- 継続看護の視点が拡がり、自施設及び地域で更に活躍できる看護師の養成につながります！
- 魅力あるプログラムにより、潜在看護師の復職支援の一つになります！

神奈川県地域看護師養成普及事業とは？

事業実施の背景と目的

- 今後、少子高齢化の進行による18歳人口の減少や看護人材の不足が見込まれる中で、超高齢社会で必要となる医療・福祉の提供のためには、看護師が地域で長期にわたり活躍できることが重要です。
- そのため、「かながわ地域看護師」の概念と必要性を関係者が認識し、地域の中で、養成機関や医療機関等が連携してその育成と普及に取り組むことにより、地域包括ケアシステムの推進に貢献し併せて地域における看護の質の向上をはかることを目的として実施します。

事業実施における推進体制

- 神奈川県と神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会が協同で検討会を設置し、かながわ地域看護師の確保・養成について、医療機関や養成機関への情報提供や県民及び医療従事者に対する普及啓発等を行います。

事業実施のスケジュール及び取組（計画）



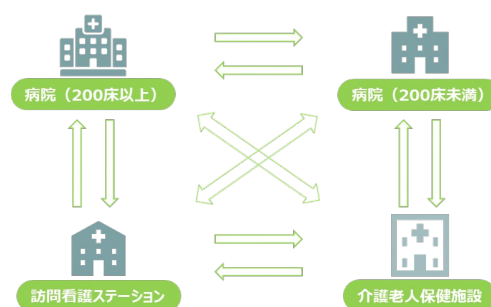
地域の医療資源を知り、活用するための研修の実施等

養成普及事業実施のためのガイドライン作成

かながわ地域看護師養成普及事業交流会開催

異なる施設間での人材交流

令和5年度モデル事業実施予定！



	2022年4~6月	7~10月	11~2月	3月
神奈川県	○関係団体へ説明・周知及び協力依頼 ○施策への位置付けを検討	○県主催の関係会議等での周知	○各地域において説明・周知	かながわ地域看護師養成普及事業報告会
地域看護師養成事業検討会	開催 ガイドライン案の検討	開催 ガイドラインの作成	開催 ガイドラインの周知	
各地域	交流会開催準備	交流会開催	研修会開催 ⇒令和5年度モデル事業（人材交流）準備	

取組事例のご紹介



【事例①】 公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院

＜理事長 窪倉孝道様＞

高齢化の進行で、病床の機能分化と連携を進める地域医療構想と患者・利用者を地域で支える地域包括ケアの仕組みづくりが本格化しています。「時々入院、ほぼ在宅」を支えるには、急性期医療分野だけではなく、地域の回復期や慢性期の病棟、訪問看護や介護施設で活躍する「地域看護師」が不可欠です。私たちの育成プログラムが、これからの地域ニーズを担う「地域看護師」を育てるキャリア支援に役立てば幸いです。

＜看護部長 奥山洋子様＞

「地域看護師」は、「循環型」と「養成型」での育成を開始し、「養成型」の当院での受け入れは2022年度が初年度となります。高齢者の生活そのものを支えたいという看護師達が、意欲的にとりこんでいます。地域包括ケア時代を支える看護師のキャリア形成を地域全体で担えれば幸いです。

【事例②】 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院

＜看護部長 渡邊輝子様＞

どのような機能の場でも活躍でき、地域に貢献できるジェネラリストナースになってもらうことを期待しています。自分の所属する施設とは違う施設基準（一般病棟、回復期リハビリテーション、地域包括ケア）での看護を経験し、実践の振り返りを通して継続看護の学びを深めることができます。病院同士の看護の連携力を鍛えて、地域における看護サービスの質を向上していきたいと思えます。

＜「循環型」出向者の方の感想＞

地域での病院同士の連携を知りたいと思い希望しました。汐田総合病院の一般病棟の看護師が積極的に退院支援にかかわっている姿勢をみて、入退院支援の重要さを知りました。また、患者さんの治療が困難かつ緊急性が高い状況の時には、高度急性期病院の済生会横浜市東部病院に転院調整されているのをみて、自分の所属する病院の役割を実感し、視野が広がりました。

皆様へのメッセージ



伊勢原協同病院
副院長兼看護部長
神保京美様

少子高齢化が進み、地域完結型医療にシフトしている環境下において、様々な疾患を持つ患者に対応できるジェネラリストの育成が急務となっています。本事業への参画が、様々な診療科の看護や多様な価値観を学ぶ機会となり、地域で活躍できる人材育成の一助となればと考えています。

三浦市立病院
総病院長
小澤幸弘様

地域において、中核病院は医療の最後の砦です。看護師にも病を治すための専門的な能力が求められます。それに対して、地域に密着した中小病院は地域包括ケアシステムの要です。看護師は病を抱え地域に戻り生活する人の最も身近な支援者であり、そこに地域看護師がいることが求められていると考えます。

座間総合病院
副院長・看護部長
竹村華織様

地域医療構想がより具体化する中で、地域の看護ニーズが変化しています。急性期看護の実践力に加え、地域との連携を見据えた看護を展開できるジェネラル力を備えた看護師が鍵を握ります。ひとつの病院で看護師を育成することから複数病院で育てる新たな看護師のキャリア支援の在り方。看護管理者として患者と家族が暮らす地域の安心を守るために、この事業についてぜひ関心をお持ちいただき一緒に取り組みませんか。